

INFORMATION

役員改選・移転情報・新事業・新商品紹介・あれこれ

Mazak製の高精度ファイバーレーザー加工機「SUPER TURBO-X 3015 FIBER」を導入

企業コード：010035799 (株)北冷製作所（江別市）

スーパーやコンビニ、飲食店などの業務用冷凍冷蔵ショーケースやオープンケースなどの製造を手がける(株)北冷製作所（江別市、代表取締役社長吉田喬一氏）では、7月にMazak製ファイバーレーザー「SUPER TURBO-X 3015 FIBER」を導入した。

当社では、板金の打ち抜き・切り出しにプレス機械の一種であるタレットパンチプレスや、CO2（炭酸ガス）レーザー加工機を使用し、オーダーメイド製品の製造を行っている。だが、小ロットもしくは単品での製造が多く、タレットパンチプレスでは、打ち抜きは早いがプログラムの作成に時間がかかり、CO2レーザー加工機だと、プログラムは早いですが切り出しに時間がかかってしまっていた。この度導入したMazak製のファイバーレーザーは、プログラムの作成・切り出しともに既存の機械より早いほか、レーザーで加工困難であった厚板のほか、銅・真鍮・軟鋼にも対応している。

「SUPER TURBO-X 3015 FIBER」は、CO2レーザーに比べて波長が短く熱吸収率が高いファイバーレーザーを採用しており、銅・真鍮・アルミニウムなどの高反射材の加工を安定して行うことができるほか、薄板・中板を高速で加工できることから生産性が向上している。また、従来、板厚や材質が変わる毎に必要なだった段取りや調整作業も自動



生産性向上と高品質加工を実現

化されており、ノズル交換を始め焦点距離の検知、清掃などに時間が取られない。加工時間も、加工ヘッドに搭載したセンサが加工異常（バーニング、プラズマ）などを検知することで、最適な加工を実現し、中・厚板の加工時間を30%以上短縮。段取り・加工時間を含めると、従来の半分ほどの時間で加工を行うことができる。

「Mazak製ファイバーレーザーを導入したことで、より精密な製品製造が可能となったほか、生産性も向上しました。従来、外注で加工していた銅なども自社で加工することができますので、今後は製品の受注だけでなく、効率化によって生み出された時間でショーケース以外の様々な部品製造を請け負い、業務の幅を広げていきたい」(吉田社長)と話している。



Mazak製ファイバーレーザー「SUPER TURBO-X 3015 FIBER」

(株)北冷製作所

〒067-0051 江別市工栄町21-11

TEL：011-384-5111

FAX：011-385-0400

<http://www.hokurei.co.jp>